

令和5年度 静岡県公立高等学校入学者選抜

# 学力検査結果等の報告書

I	学力検査結果等の概況	・・・・・・・・	1
II	各教科及び作文の概況		
	国	語	・・・・・・・・ 5
	数	学	・・・・・・・・ 6
	英	語	・・・・・・・・ 7
	社	会	・・・・・・・・ 8
	理	科	・・・・・・・・ 9
	作	文	・・・・・・・・ 10

令和5年6月

静岡県教育委員会

# I 学力検査結果等の概況

## 1 学力検査等の実施

一般選抜は、令和5年3月2日（木）及び3月3日（金）に、全日制の課程では90校（分校等も1校と数える。）、定時制の課程では20校（学年制17校、単位制3校）で実施した。学力検査は3月2日（木）に実施し、全日制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科について行い、学年制による定時制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科及び作文の中から、学校が必要な教科等を選択して行った。単位制による定時制の課程では、国語・数学・英語・社会・理科の5教科又は作文により実施した。

なお、一般選抜と同日に実施した特別選抜のうち、海外帰国生徒選抜は15校、長期欠席生徒選抜は2校、連携型選抜は3校、県外生徒特色選抜は2校において、一般選抜と同様に5教科の学力検査を実施した。外国人生徒選抜を実施した9校においては、日本語基礎力検査を実施した。

検査当日、病気その他やむを得ない理由によって検査を受けられなかった者に対する追検査は、3月9日（木）に実施した。さらに、再募集を3月22日（水）に実施し、全日制の課程並びに学年制及び単位制による定時制の課程において、作文又は小論文を学校が選択して行った。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る追加検査は3月16日（木）に実施し、追加検査（二次）は3月22日（水）に設定したが、受検者はいなかった。

この報告書においては、3月2日（木）に実施した学力検査及び作文について報告する。

## 2 検査教科と検査時間

表1

教科名		国語	数学	英語	社会	理科
実施時刻	開始	9:05	10:10	11:15	12:55	14:00
	終了	9:55	11:00	12:05	13:45	14:50
検査時間		50分	50分	50分	50分	50分

※ 定時制の課程において作文を実施した学校では、国語と同一の時間に実施した。

## 3 学力検査及び作文問題の出題方針

学力検査問題は、次の方針に基づいて出題した。

5教科の検査問題は、中学校までの学習内容を踏まえた、基礎的・基本的なものとし、各教科の目標に即して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を広く検査できるように出題した。

また、作文問題については、受検者の身近な問題を題材として5つの作文題を示し、各実施校がこの中から2～3題を選んで出題し、受検者はその中から1題を選んだ。

4 学力検査及び作文受検者数（追検査受検者を含む。）

表 2

	令和 5 年度	令和 4 年度
全日制の課程	19,146 人	19,116 人
学年制による定時制の課程	305 人	239 人
単位制による定時制の課程	413 人	439 人
合 計	19,864 人	19,794 人

5 学力検査結果の教科別平均点、標準偏差及び得点分布

(1) 各教科の検査結果の平均点（50 点満点）及び標準偏差

表 3

	令和 5 年度		令和 4 年度	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
国 語	33.55	7.63	34.90	7.26
数 学	26.15	8.89	24.64	9.44
英 語	27.25	11.33	31.92	11.16
社 会	30.33	9.30	29.41	9.79
理 科	25.64	9.73	26.98	9.90
実施校数	90 校		92 校	

※ 分校等を 1 校と数える。全日制の課程のみ。

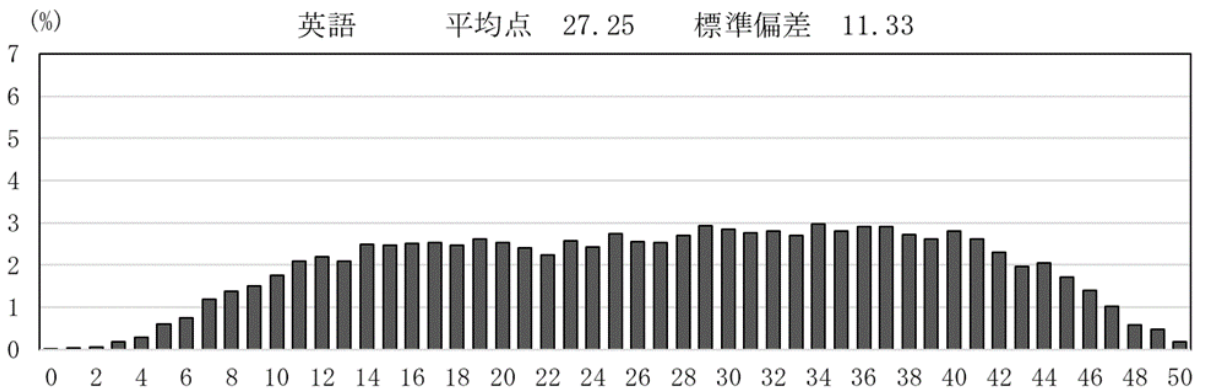
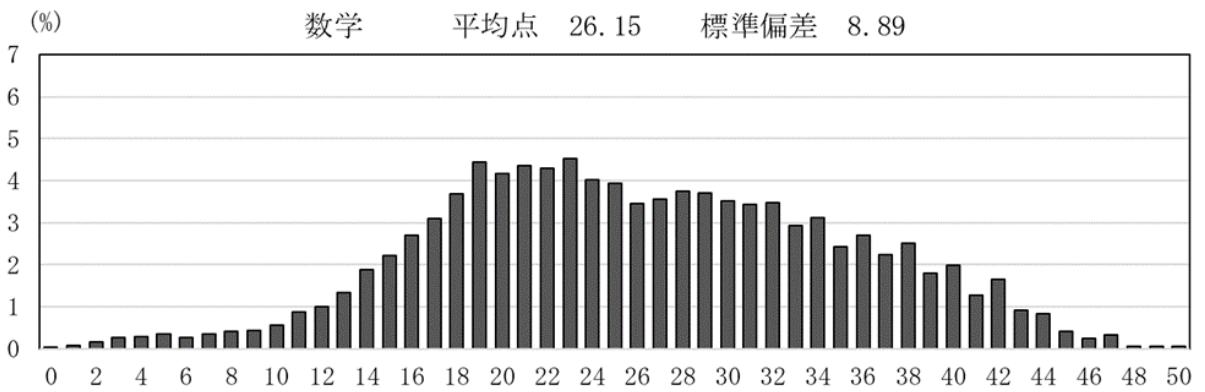
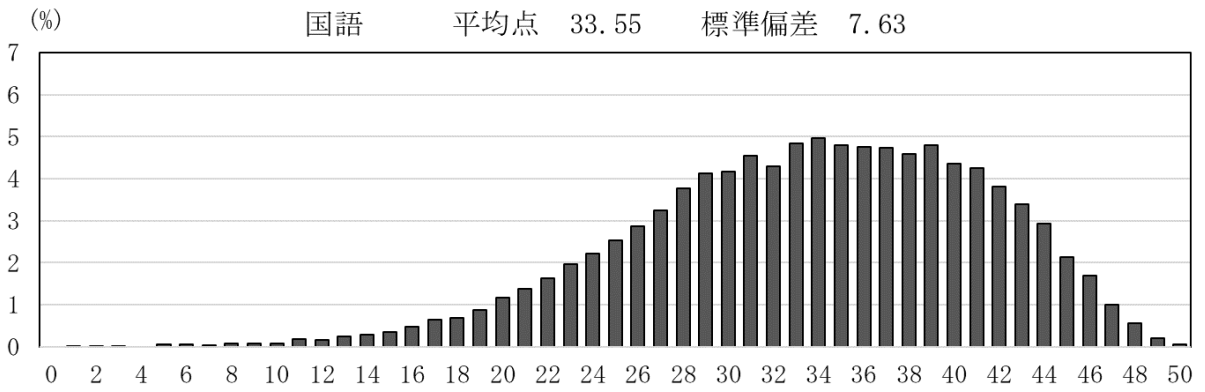
(2) 各教科の得点分布

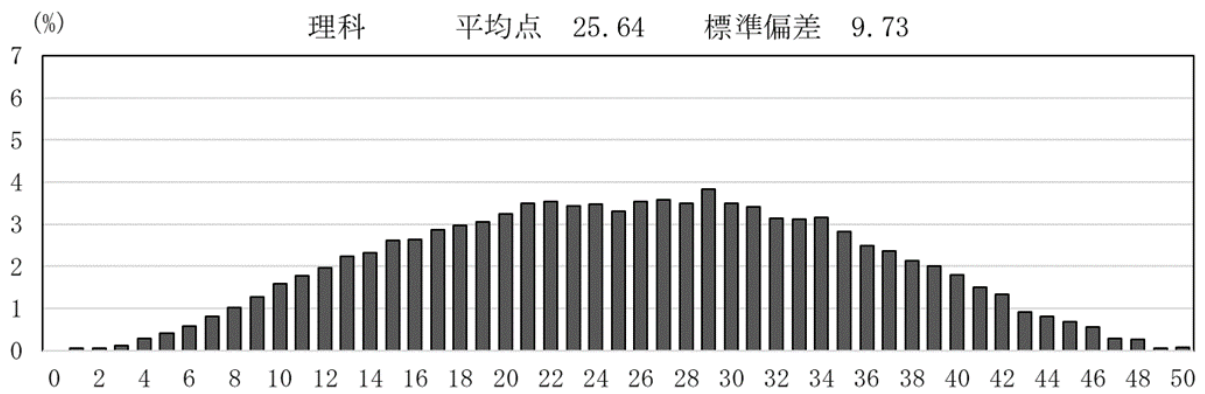
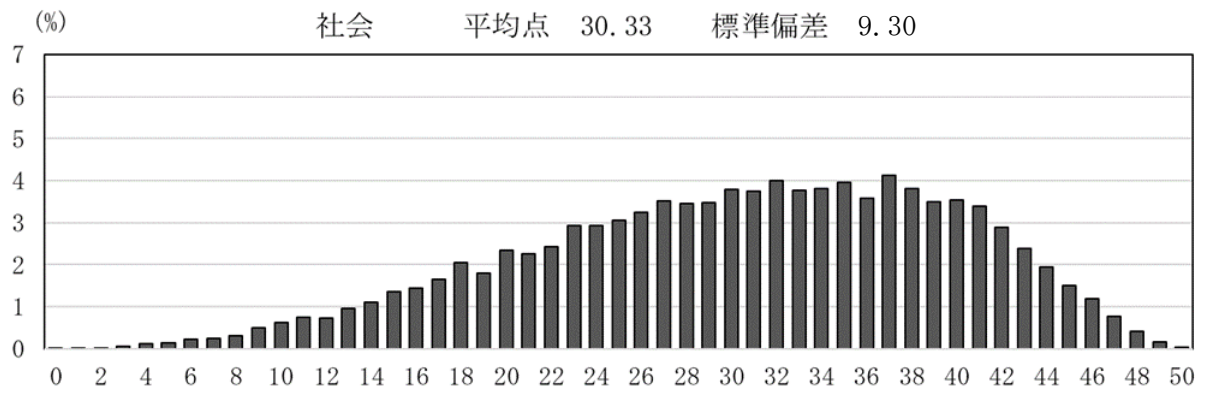
(%) 表 4

得 点	国 語		数 学		英 語		社 会		理 科	
0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～5	0.1	0.1	1.1	1.5	1.2	0.4	0.3	0.5	0.9	0.6
6～10	0.3	0.2	2.0	4.3	6.6	2.7	1.9	2.7	5.3	4.2
11～15	1.2	0.8	7.3	10.0	11.3	6.7	4.9	6.6	10.9	9.4
16～20	3.8	2.9	18.1	18.5	12.6	9.1	9.3	10.8	14.8	13.7
21～25	9.7	7.6	21.1	21.9	12.4	10.9	13.6	14.2	17.3	16.4
26～30	18.2	13.9	18.0	17.7	13.6	12.4	17.5	16.1	17.9	17.6
31～35	23.4	21.7	15.4	12.5	14.1	13.9	19.3	17.5	15.6	16.3
36～40	23.2	28.6	11.2	7.4	14.0	15.5	18.5	18.0	10.8	12.6
41～45	16.5	20.7	5.1	4.4	10.6	17.7	12.1	11.7	5.3	7.1
46～49	3.5	3.5	0.7	1.3	3.5	9.9	2.5	2.0	1.2	2.1
50	0.1	0.0	0.1	0.4	0.2	0.7	0.0	0.0	0.1	0.1

※ 右列は令和 4 年度。全日制の課程のみ。

### (3) 各教科の得点分布グラフ





## 6 各教科の小問別正答状況

全受検者の中から約 1/50 を抽出し、各教科の小問別正答状況を調査した。その結果は、「Ⅱ 各教科及び作文の概況」において示す。

# 国 語

## 1 出題のねらい

一では話の展開や登場人物の心情を、表現の仕方に注意して読み取ることができるかをみる。  
 二では筆者の考えを文章の展開に即して的確に把握する力をみる。三では社会生活に必要な、言葉によって伝え合う力をみる。四では平易な古文を読んで、話の内容をとらえることができるかをみる。五では自分の考えを文章で適切に表現する力をみる。

## 2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
一	問一	㊤ 非常によくできている。	99.2
		㊦ 非常によくできている。	93.9
		㊧ よくできている。	89.1
	問二	よくできている。	76.2
	問三	誤答では、「校長先生の」などがみられる。	66.6
	問四	ユミが「サクラシール」を貼ることに決めた理由を的確にとらえることができていない解答が多い。	59.9
二	問一	㊤ よくできている。	90.1
		㊦ よくできている。	90.4
		㊧ 非常によくできている。	97.5
	問二	誤答では、イが多い。	56.5
	問三	よくできている。	73.3
	問四	非常によくできている。	97.2
	問五	文章の展開に即して内容をとらえることができていない不十分な解答が多い。	33.2
	問六	誤答では、アが多い。	47.6
三	問一	よくできている。	90.1
	問二	よくできている。	81.6
	問三	よくできている。	84.4
	問四	よくできている。	76.6
	問五	陸上部員の活動する姿勢を、メモの内容を踏まえた適切な言葉で表現することができていない不十分な解答が多い。	62.2
四	問一	非常によくできている。	96.5
	問二	誤答では、ウ、エが目立つ。	61.5
	問三	九郎のよそおいの変化を的確にとらえることができていない不十分な解答が多い。	62.7
	問四	頼義の考えを的確にとらえることができていない解答が多い。	34.2
五	グラフから考えたことを、自分の言葉で述べようとする姿勢がみられる。身近なところにある事柄には触れているが、説得力を持つ文章となっていないものが多い。		54.4

# 数 学

## 1 出題のねらい

1と2では数と式、図形及び確率に関する基礎的な力を、3と4では身近な事象を数学的にとらえる力を、5と6では空間図形及び関数についての理解の程度を、7では平面図形について論理的に考察する力を、それぞれみることにねらいを置いた。出題に当たっては、数学的活動を通して、事象を数学的にとらえ、表現し、考察処理する過程をみるようにした。

## 2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
1	(1)	ア 非常によくできている。	97.5
		イ よくできている。	84.3
		ウ よくできている。	86.6
		エ 非常によくできている。	93.2
	(2)	よくできている。	89.9
	(3)	よくできている。	85.7
2	(1)	点Aから辺OYに引く垂線の作図ができていないものが多い。	59.6
	(2)	「逆」について正しく理解していないものが多い。	58.5
	(3)	よくできている。	81.3
3	(1)	よくできている。	78.9
	(2)	誤答では、「32、33」などがみられる。	44.2
4	数量関係の正しい立式ができていないものが多い。また、どのような数量を $x$ や $y$ で表しているのかを明記していないものも目立つ。		44.6
5	(1)	非常によくできている。	97.5
	(2)	誤答では、 $\frac{11}{4}\pi$ や $9\pi$ などがみられる。	52.0
	(3)	正答率が低い。無答も多い。	0.5
6	(1)	誤答では、4が目立つ。	70.8
	(2)	誤答では、ウが多い。	41.4
	(3)	正答率が低い。問題を解くのに必要な点の座標を正しく求められないための誤答が多い。無答も多い。	16.6
7	(1)	三角形の相似条件「2組の角がそれぞれ等しい」において、 $\angle GBC = \angle FEC$ は説明されているが、もう1組の対応する角が等しい理由について、論理の飛躍しているものや説明の不十分なものが目立つ。	26.0
	(2)	正答率が低い。目測で求めたと思われる3という誤答が目立つ。	3.8

# 英 語

## 1 出題のねらい

1では英文を聞いて、必要な情報や話の概要をとらえる力をみる。2では対話文を読んで、話の概要や要点をとらえる力と、自分の考えを英語で書く力をみる。3では相手に伝えるべき事柄を英語で書く力をみる。4では物語形式の英文を読んで、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじをとらえる力をみる。

## 2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
1	(1)	A 非常によくできている。	96.3
		B よくできている。	78.7
		C 誤答では、 <b>エ</b> が多い。	59.5
		D 誤答では、 <b>エ</b> が多い。	75.9
	(2)	1 よくできている。	84.7
		2 誤答では、 <b>㉔</b> を <b>train</b> としたものが多。	60.6
		3 話の内容を正確に聞き取れていないための誤答が目立つ。	35.8
2	(1)	A 非常によくできている。	98.2
		B 誤答では、 <b>ア</b> が多い。	74.7
		C 誤答では、 <b>イ</b> が多い。	72.7
	(2)	誤答では、 <b>エ、ア、オ、イ、ウ</b> が多い。	34.4
	(3)	㉑ よくできている。	82.0
		㉒ 誤答では、 <b>ウ</b> が多い。	56.5
		㉓ 誤答では、 <b>ウ</b> が多い。	72.2
	(4)	既習の語句や表現形式を用いて解答しているものが多。	23.0
	(5)	話の内容を的確にとらえていないため、適切な部分を抜き出すことができていないものが多。	16.6
	(6)	D <b>go to</b> を用いて解答しているものが目立つ。	50.6
E 会話の流れを踏まえていないための不十分な解答が多。		30.8	
3	既習の語句や表現形式を用いて、伝えるべき内容を積極的に書こうとする姿勢がみられる。		39.8
4	(1)	㉕ 誤答では、 <b>feeling</b> が目立つ。	63.5
		㉖ 誤答では、 <b>writing</b> が目立つ。	55.7
	(2)	① 要点はとらえているが、応答の仕方が不適切な解答が多。	51.6
		② 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多。	42.2
	(3)	誤答では、 <b>ア</b> が多い。	73.2
	(4)	誤答では、 <b>ア</b> が多い。	40.8
	(5)	話の内容を的確にとらえていないための誤答が多。	32.7
	(6)	話の内容を的確にとらえていないための誤答が多。	20.4
(7)	誤答では、 <b>ア、イ、エ</b> がほぼ同数みられる。	71.1	



# 社 会

## 1 出題のねらい

1 では日本の歴史における政治や社会の特色、2 では自然環境や産業などからみた日本の特色、3 では国際社会の動向と特色、4 では国民生活と政治・経済とのかかわりについて、それぞれ出題した。出題に当たっては、社会的事象に対する関心と理解の程度をみるとともに、多様な資料に基づいて考察し、表現する力をみるようにした。

## 2 解答の状況

設問番号	解答の特徴と誤答例	正答率		
1	(1)	よくできている。	81.8	
	(2)	誤答では、「古事記」が目立つ。	32.7	
	(3)	誤答では、「藤原道長」が多い。	69.9	
	(4)	a	よくできている。	86.8
		b	図から読み取れる琉球王国の位置について適切に記述していない解答が多い。	47.7
	(5)	誤答では、「武家諸法度」が目立つ。	60.3	
	(6)	a	誤答では、イ、ウが多い。	44.6
		b	イギリスとフランスの関係について適切に記述していない解答が多い。	66.6
	(7)	a	よくできている。	74.7
		b	資料から読み取れることについて適切に記述していない不十分な解答が多い。	42.5
	(8)	誤答では、「イ→ウ→ア」が多い。	60.3	
	(9)	a	沖縄が日本に返還されたことについて適切に記述していない解答が多い。	55.7
b		グラフから読み取れることについて適切に記述していない不十分な解答が多い。	58.5	
2	(1)	a	非常によくできている。	98.7
		b	ももの栽培面積が増えている理由を適切に記述していない解答が多い。	55.4
	(2)	a	よくできている。	81.5
		b	誤答では、ア、イが多い。	54.2
	(3)	a	よくできている。	77.7
		b	誤答では、「栽培漁業」が多い。	69.9
	(4)	a	よくできている。	78.2
b		阿武隈川の水が引けなかった理由を適切に記述していない解答が多い。	58.6	
c	誤答では、「イ→ア→ウ」が多い。	37.0		
3	(1)	a	よくできている。	84.1
		b	誤答では、「大西洋」が多い。	68.9
	(2)	誤答では、㉔、㉕が多い。	51.6	
	(3)	誤答では、B、D が多い。	35.2	
	(4)	a	非常によくできている。	94.2
b		公用語が定められている理由を適切に記述していない不十分な解答が多い。	60.9	
c		図から読み取れるウガンダの国の位置について適切に記述していない不十分な解答が多い。	57.3	
4	(1)	a	誤答では、ア、ウが多い。	38.0
		b	輸入品に関税をかけることの利点を適切に記述していない解答が多い。	37.8
	(2)	a	誤答では、オが多い。	66.3
		b	よくできている。	83.5
		c	誤答では、イが多い。	68.4
	(3)	資料、表、グラフを基に、資料が示す政策を国が打ち出したねらいを適切に記述することができていない不十分な解答が多い。	56.8	

# 理 科

## 1 出題のねらい

1は基礎的・基本的な事項、2はいろいろな生物とその共通点及び生物の体のつくりとはたらき、3は化学変化とイオン及び化学変化と原子・分子、4は気象とその変化、5は大地の成り立ちと変化、6は身近な物理現象及び運動とエネルギーに関する問題である。出題に当たっては、観察や実験に重点を置き、自然の事象について、知識や理解の程度及び科学的に考察する力をみるようにした。

## 2 解答の状況

設問番号	解答の特徴と誤答例		正答率
1	(1)	誤答では、「恒星」などがみられる。	66.8
	(2)	よくできている。	79.7
	(3)	受精によって両方の親からそれぞれの染色体を受け継ぐことを正しく理解していないための誤答が多い。	50.5
	(4)	誤答では、「24」が多い。	19.7
2	①	a よくできている。	84.3
		b 非常によくできている。	93.2
	(1) ②	よくできている。	79.2
	③	a 誤答では、「0.8」などがみられる。	62.5
		b 誤答では、アが多い。	43.8
	(2)	① 非常によくできている。	89.4
② 微生物が大量の植物プランクトンを分解することによって、海底に生息する生物が死ぬことがある理由を適切に記述していない誤答が多い。		9.5	
3	(1)	① よくできている。	80.8
		a 亜鉛板で起こる化学変化を正しく理解していないための誤答が多い。	54.6
		b 誤答では、アが目立つ。	72.9
	③ 対照実験について正しく理解していないための誤答が多い。	38.2	
	(2)	① 誤答では、ウが多い。	56.2
		② タンクQに入れる酸素の体積と光電池用モーターが回転する時間の関係を正しく理解していないための誤答が多い。	26.1
(3)	誤答では、「7」が目立つ。	5.1	
4	(1)	よくできている。	75.9
	(2)	① よくできている。	74.4
		② 下降気流が生じることを適切に記述していない誤答が多い。	47.6
(3)	誤答では、「2.4」などがみられる。	20.8	
5	(1)	① 誤答では、「侵食」などがみられる。	68.4
		② 粒の大きさは泥が最も小さいことを理解していないための誤答が多い。	71.3
	(2)	誤答では、エが多い。	56.7
6	(1)	① フックの法則について適切に記述していない誤答が多い。	23.8
		a 金属球にはたらく重力の分力を正しく理解していないための誤答が多い。	40.5
	②	b 誤答では、イが多い。	37.7
		① 非常によくできている。	87.3
	(2)	② 運動エネルギーについて正しく理解していないための誤答が目立つ。	65.7
		(3)	① 誤答では、イが多い。
② 誤答では、「0.8」「0.6」が目立つ。	17.2		

# 作 文

## 1 作文題名の選択状況

作文の題名	選択した 学校数	選択者数	受検者数に対する 選択者数の割合
一 中学校生活で努力したこと	1 校	12 人	5.7 %
二 私がめざしていること	11 校	125 人	59.5 %
三 私が好きな言葉	7 校	34 人	16.2 %
四 身近な人に学んだこと	7 校	35 人	16.7 %
五 ボランティア活動について	0 校	0 人	0.0 %
その他（注）		4 人	1.9 %
計	実施した 学校数 12 校	受検者数 210 人	100 %

（注）指定外の題名で書いた者 3 人。2 つの題名を選んだ者 1 人。

## 2 概 評

### (1) 内 容

- ・「私がめざしていること」では、将来の職業について述べたものと、高校生活の目標をあげたものがみられた。新しい生活を前にした意欲的な姿勢を読み取れるものが多かったが、めざしているものを実現するための具体的な展望を述べたものは少なかった。
- ・「私が好きな言葉」では、「やればできる」などの前向きな言葉を取り上げたものがみられた。その言葉を励みにして、高校生活を送りたいと述べたものもみられた。
- ・「身近な人に学んだこと」では、友人から「協力する素晴らしさ」「努力の大切さ」などを学んだことについて述べたものがみられた。

### (2) 表現・表記

- ・ひらがなの多用や誤字、脱字の多いものがみられる。
- ・原稿用紙の使い方、句読点の打ち方など、文章を書く上で基本となる事項を習得していないものが目立つ。
- ・書き言葉と話し言葉との区別、主述の呼応などに不適切なものがみられる。
- ・文章の構成や段落分けの意識がなく、思いつくままに文を書き連ねているものがみられる。